

町制施行55周年記念事業

鏡石「牧場の朝」オランダ・秋祭り伝

9/30(土)

鏡石牧場の朝秋祭り実行委員会（小林 勇雄実行委員長）では、9月30日(土)鏡石駅前において、鏡石「牧場の朝」オランダ・秋祭りを開催します。

今年は「町制施行55周年記念」「オランダ祭り25周年記念」ということで、「伝」をテーマに、鏡石町の有形無形の伝統や文化、地域ブランド等を後世に伝え、「伝統ある祭り」を築き上げます。

●問い合わせ先 鏡石牧場の朝秋祭り実行委員会事務局（産業課） ☎62-2118

予定出演団体等

あやめフローレンス、オランダ大道芸人、よさこい演舞（鏡石保育所、鏡石幼稚園、鏡石中学校、鏡踊囃會）、町内小学校鼓笛・仮装パレード（全学年）、鏡石中学校吹奏楽部、神輿3団体、MANEXILE（マネザイル）、和田青児（演歌歌手）ほか
※当日の都合等により、変更になる場合があります。



対象となる町道の測量・調査を行いながら、平成32年度まで堆積物の撤去作業を実施します。なお、すでに除染作業によって堆積物を撤去した道路側溝や、農業用排水路

町では、今年度から町道などの側溝に溜まった堆積物の撤去作業を実施します。対象となるのは、空間線量率が低く除染の対象とならなかった側溝です。除染対象とならなかった側溝は、今まで掃除することができずに堆積物が溜まってしまいました。が、平成28年度に成立した復興庁の福島再生加速化交付金（道路等側溝堆積物撤去・処理支援）事業を活用することで堆積物の撤去が可能となりました。

道路側溝の堆積物撤去作業が始まります



撤去することができずに溜まっている堆積物。

などは対象となりません。作業にあたりましては、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

●実施対象
町道等の側溝（町内一円。ただし、除染で実施した箇所等を除く。）

●実施期間
平成29～32年度

※平成29年度実施地区

鏡石1区（中央、中町の一部）、鏡石2区（不時沼の一部、本町の一部）

鏡石3区（桜町、池ノ原、緑町、本町の一部、不時沼の一部）

▼問い合わせ先
都市建設課 ☎62-2116

第19回

少年の主張鏡石町大会

8月5日(土)町図書館で第19回少年の主張鏡石町大会が開催され、小学生8人、中学生6人が出場し、日頃感じたことや考えていることなどを発表しました。最優秀賞は、小学生の部が齋田あずさん（二小6年）、中学生の部が姫路涼花さん（鏡石中3年）の2人が受賞しました。また、菊地萌叶さん（一小6年）、斎藤有さん（一小6年）、佐久間渚月さん（鏡石中3年）、鈴木すみれさん（鏡石中2年）の4人が優秀賞を受賞しました。中学校の上位3人は、県大会に推薦されます。最優秀賞を受賞した2人の作品を今月と来月に分けて紹介します。



小学生の部に参加した皆さん

一つひとつの 小さな思いやり

齋田 あず

私が最近、すごいなあと思っていることがあります。それは、エレベーターに乗った時に、始めに乗っていた人が奥へ奥へと詰めていき、どんどんスペースを空けていくことです。それは、次に乗る人のために自然と行っていたり前のことだと思いかもしれません。ですが、私は一人一人の相手のことを考えて行う思いやりの気持ちだなと感じました。

また、エスカレーターに乗った時、みんなが左側に



壇上で話す齋田さん

よって、右側を空けているとがありました。私は、初めてそれを見た時、「何をしているのだろう」と思いました。そんなことを考えていたら、後ろから急いでいる人が走ってきました。そして、その人は、私たちが空けていた右側を急いで通っていき、私たちがスムーズに通れるようにするために空けていたのだということに気が付きました。これも思いやりのある行動だなと思いました。すごく親切な思いやりなのに、多くの人たちが当然のようにやっていることがすごいです。思ったのを覚えていました。そして、私は、道徳の時間にこんなことを学びました。それは、「江戸しぐさ」という言葉です。「江戸しぐさ」とは、今から四百年以上も前の江戸時代から伝わるしぐさのことです。

のしぐさで、お互いに右の肩を後ろに引いて、相手にぶつからないようにするしぐさのことです。三百年もの長い間、平和が続いていた江戸時代に色々な生活習慣が生み出され、現代に生きる私たちにもこのような知恵が伝わってきている、という話を聞きました。私は、昔から他人を気づかうしぐさがあった、ということにとっても感心しました。

「江戸しぐさ」には、動作に限らず、言葉や表情、考えなど昔の人が生活するうえで、の心の様子などを表している、みんなが平和に気持ちよく暮らそうという願いが込められているそうです。私が目にした、エレベーターの中の様子やエスカレーターでの乗り方など皆さんが何気なくやっているしぐさも「江戸しぐさ」と同じような願いが込められているのではないかと、思いました。そのしぐさに出会ってさわやかな気持ちになるのは、された人だけではない、した人も同じだと思います。また、ある人は、このようなしぐさは、全ての人の「言葉なきあいさ

つ」だとも言っているそうです。私たち、一人ひとりが行っている本心に小さな思いやりのしぐさは、すれちがうだけの他人をさわやかな良い気持ちにさせる思いやりとなりません。その他人を大切に思う気持ちのおかげで、私たちは、よりよく暮らすことができていると思います。「江戸しぐさ」に込められている「真心をもって人を大切にする」という気持ちは、今に生きる人たちみんなに伝えたいです。私は、このようにこれからは、相手をさわやかな気持ちにできるような人になりたいと思えました。それは、思いやりのある行動を当たり前のようにできる、ということは素晴らしいと思つたからです。私たちがもっている一つひとつの小さな思いやりをこれからも大切にしていきたいです。そして、昔からある「江戸しぐさ」に込められた願いを現代、さらに未来へとつなげていきたいと思つています。

